

# 木樹脂ベランダデッキ 組立施工マニュアル

マニュアル番号 ME-1419

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。  
施工完了後はお施主様へお渡しください。

## 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。		「必ず行なっていただくこと」を示しています。

### 注意

- デッキをみだりに改造、変更しないでください。
- 本製品は、コンクリート等の床面に設置するものです。防護柵や手すり、壁等に使用しないでください。
- 電気製品の電線等をベランダデッキの下に入れ込んだり、アースを接続しないでください。
- ベランダデッキの端部を人が触れるような場所には、必ず別売の端部キャップを取付けてください。



### 使用上のご注意について

- ベランダデッキに100kg以上の重量物をのせないようにしてください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は、使用しないでください。
- デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。

- ベランダデッキ裏面のスベリ止め部品は、絶対にはがさないでください。製品がすべりやすくなり危険です。
- マンション、アパート等のバルコニーに取付ける場合は、管理組合の了承を得てください。
- 非常口への施工は、絶対におやめください。
- ベランダデッキを設置することで、床面から手摺の上部までが、高さ1100mmより低くなるような場合は、デッキを取付けないでください。

- 微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近付けたりしないでください。
- 表面が汚れた時は水洗いしてください。洗剤を使用する際は中性洗剤を水でうすめて使用し、よく水で洗い流して拭きとってください。
- デッキの表面を固い物で叩いたり、こすりつけたりしないでください。キズのつくおそれがあります。

### 施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起し思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品の表面に流れないように注意してください。
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- (4) 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面に

キズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

- (5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- (7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- (8) デッキ裏面にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。

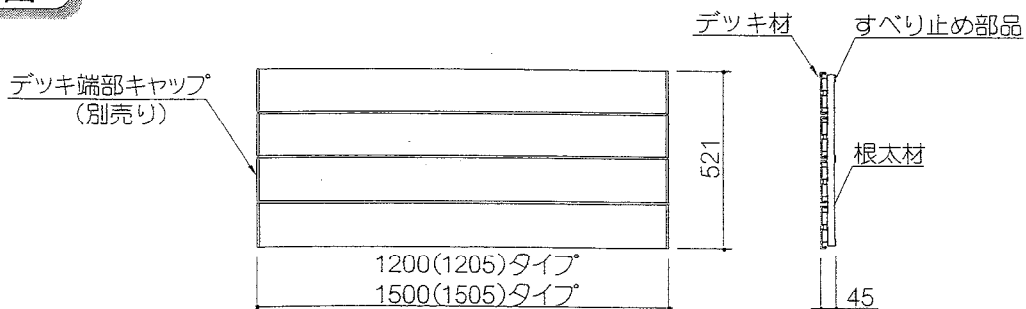
\* 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

### 木樹脂製品のお手入れ方法について

年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

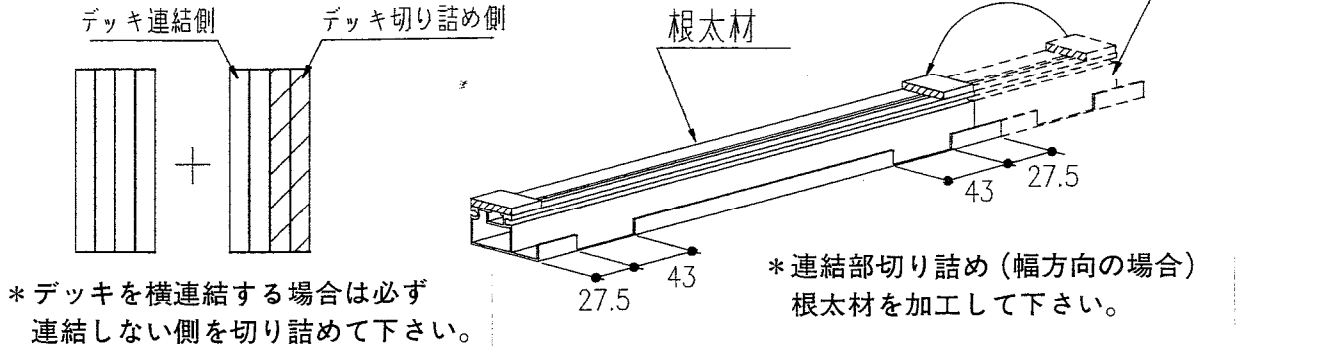
汚れが軽い場合: やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。  
汚れが目立つ場合: 中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

### 姿 図



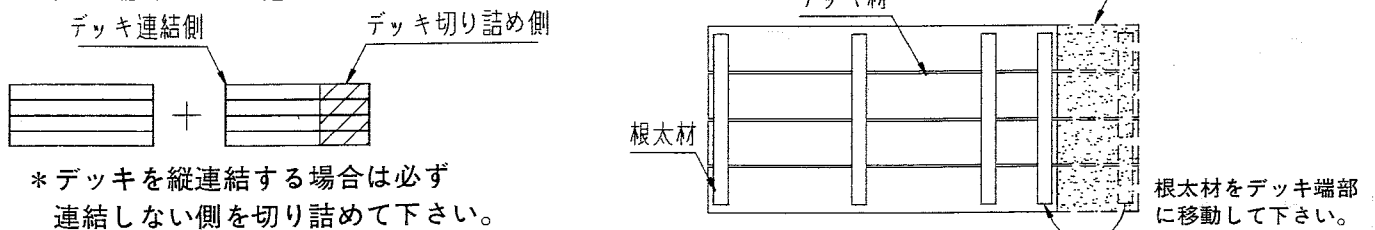
## 2-1. 幅方向の切り詰めをする場合

- 1 連結部分側の切り詰めはなるべくしないように下して下さい。
- 2 切り詰める部材（根太材）は安全の為に、製品から取り外してから切断して下さい。  
デッキと根太材を接合しているφ4×16のドリリングビスを外すと根太材は取り外せます。
- 3 根太材は、下図に従って加工して下さい。
- 4 根太材を切り詰めた後、2-3.を参考にデッキを組み立てて下さい。

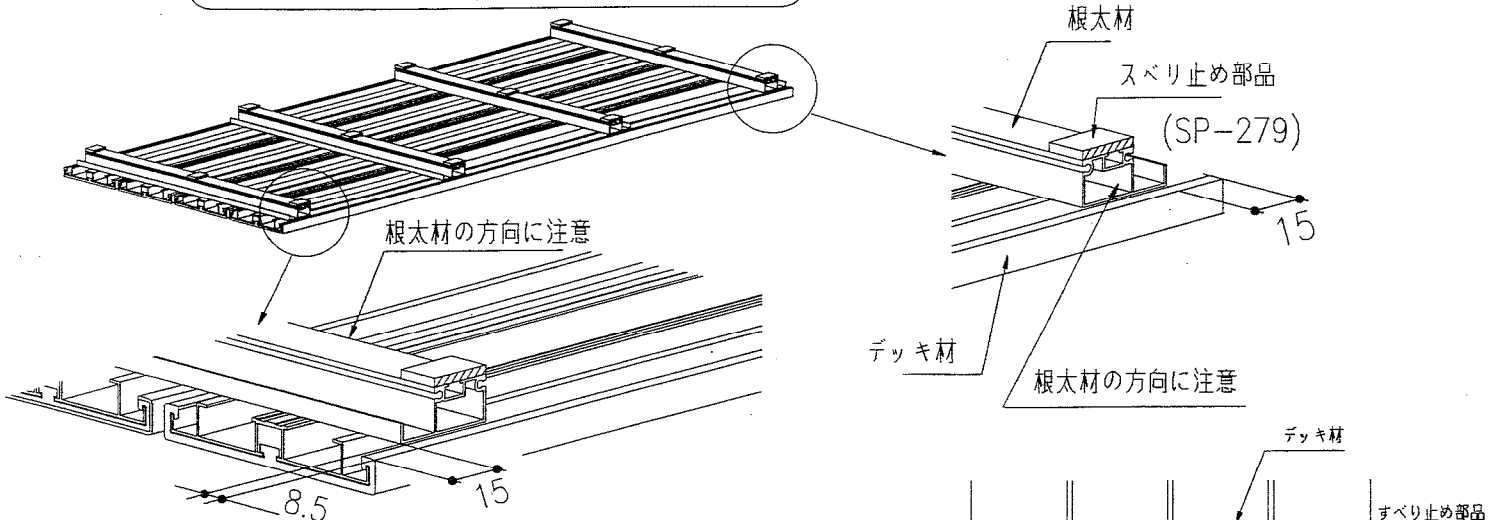


## 2-2. 縦方向の切り詰めをする場合

- 1 切り詰める部材（デッキ材）は安全の為に、製品から取り外してから切断して下さい。
- 2 デッキ材を切り詰めた後、2-3.を参考にデッキを組み立てて下さい。  
デッキ端部には、必ず根太材を取付けて下さい。



## 2-3. デッキ材切り詰め後の組立上の注意

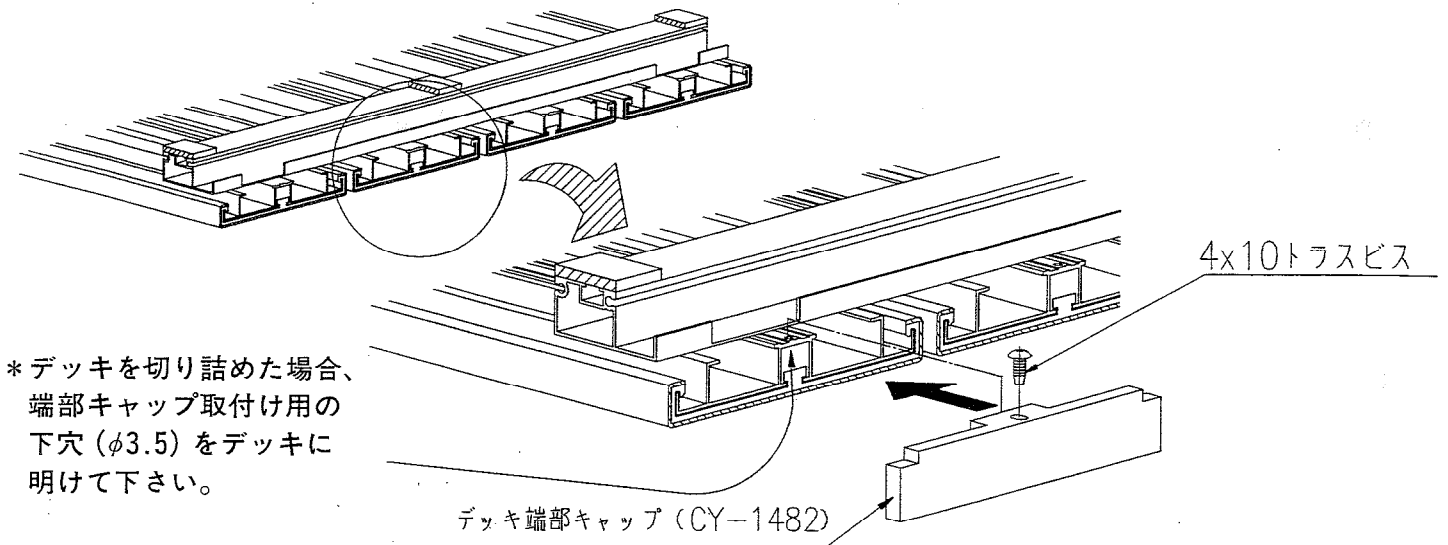


注) デッキ材と根太材との関係は右図参考に組立てて下さい。寸法が違いますと連結に支障がでます。すべり止め部品は根太材端部に取付けて下さい。デッキ材のがたつきの原因となります。

\*デッキ材と根太材との関係は上図参考に組立てて下さい。

### 3. デッキ端部キャップの取付

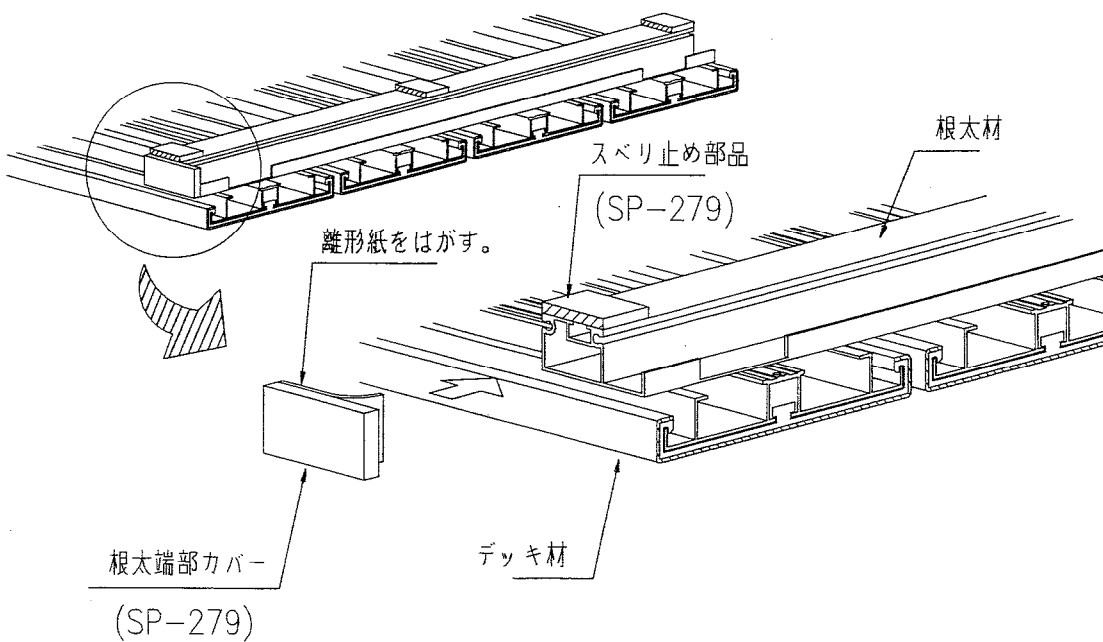
- 1 安全の為、デッキ端部の、人が触れる場所に取付けてください。
- 2 別売部品のデッキ端部キャップを下図にしたがって取付けてください。



注) 安全の為、デッキ端部の、人が触れる場所に使用下さい。  
(縦連結部分には取付できません。)

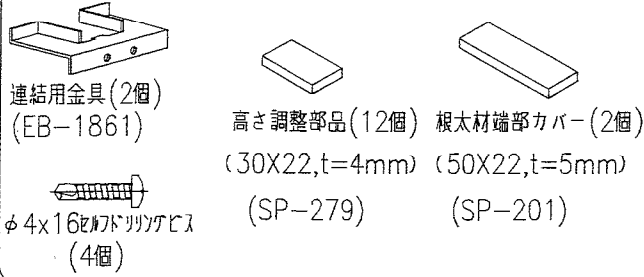
### 4. 根太材端部キャップの取付

- 1 安全の為、根太材端部の、人が触れる場所に根太端部カバー (SP-201) を取付けてください。  
連結部や端部で根太材が隠れる部分には必要ありません。
- 2 デッキ本体の部品セット内にある根太材端部カバーを下図のように取付けてください。

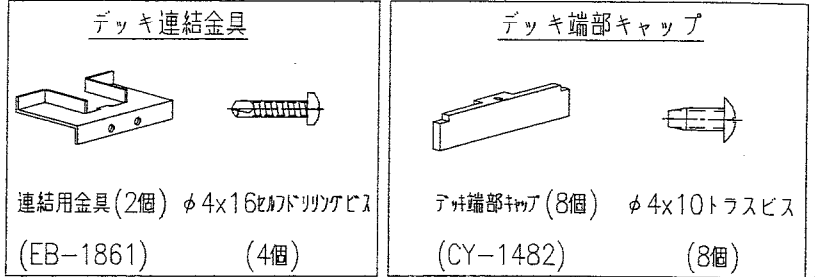


注) 安全の為、根太材端部の、人が触れる場所に使用下さい。

## デッキ本体梱包部品内容明細



## 別売り部品内容明細



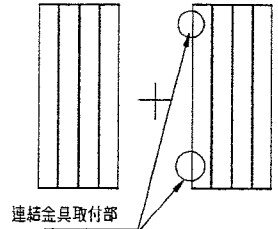
## ベランダデッキ連結について

ベランダデッキを数枚連続して使用される場合は、必ず連結金具を御使用ください。

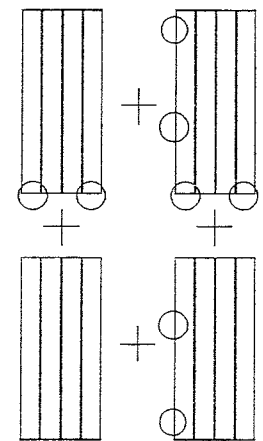
### 1-1. 横方向連結

- 先に設置するベランダデッキの連結側に、連結金具を取付けてください。
- 下図のように連結用部品を根太材のビスホールにφ4x16セルフドリリングビスにて取付けてください。
- 施工は連結金具を取付たデッキ材をセットし、連結するデッキ材の根太材を連結部品に嵌め込んで下さい。
- 床面の凸凹の為、デッキ材がガタつく場合は、付属の高さ調整部品(SP-279)をスベリ止め部品に貼り重ねて調整して下さい。

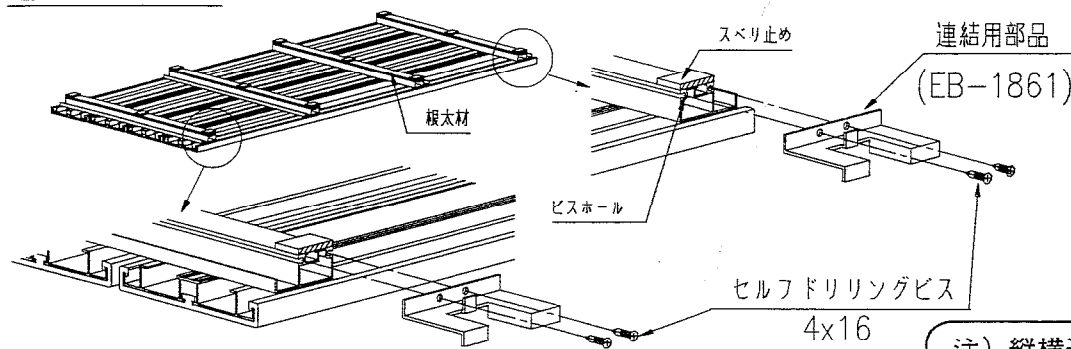
(例 横2連)



(例 縦横4連)



### 連結金具の取付



注) 縦横連結する場合は、上図のように横連結する側の連結金具を中央側の根太材に取付けてください。

### 1-2. 縦方向連結

- 先に設置するベランダデッキの連結側に、連結金具を取付けてください。(例 縦2連)
- 下図を参照しながら連結金具を根太材の切り欠き部にφ4x16セルフドリリングビスにて取付けてください。  
(ビスは根太材のビスホールに打ってください)
- 施工は連結金具を取付たデッキ材をセットし、連結するデッキ材の根太材を連結部品に嵌め込んで下さい。
- 床面の凸凹の為、デッキ材がガタつく場合は、付属の高さ調整部品(SP-279)をスベリ止め部品に貼り重ねて調整して下さい。

### 連結金具の取付

